

# トマホークくるな！6.3 横須賀集会開催

## 日刊 勤労千葉

84. 6. 5

No.1657

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

\*\*\*\*\*

護憲反安保神奈川県実行委員会の主催する「トマホーク配備反対・非核三原則厳守・日本を核戦場にすなわ 六・三横須賀集会」が、6月3日13時より、横須賀市内の臨海公園において開催され、関東各県評・県労連傘下の労働者や住民団体など一万六千人が結集し、集会と抗議デモをもちました。勤労千葉は各支部よりの代表派遣三五名をもって参加し、雨をもついで千葉県労連隊列の先頭を担いきって最後まで闘いを貫徹しました。

\*\*\*\*\*

### 日本を核攻撃基地にするな！ 中曾根の「歓迎」発言を弾劾

対岸にアメリカ第七艦隊の横須賀基地を臨む臨海公園では、おりのはげしい雨をついで、子供づれも含む労働者・市民が続々と結集。定刻、護憲反安保神奈川県実行委の杉山事務局長より開会が宣せられ、議長団に護憲反安保神奈川県実行委の葉山氏、平和擁護茨城県民会議の小林氏、日本婦人会議神奈川本部の森氏を選出して開始されました。

最初に、主催者を代表して、トマホーク配備阻止現地闘争本部長の竹田参議員議員および関東ブロック地評連絡協の藤本事務局局長が各々挨拶と基調報告をおこないました。

基調報告では、「アメリカは、この六月から核巡航ミサイル「トマホーク」のアジア・太平洋への配備を言明し、日本に常時寄港している原子力潜水艦や艦船に積載することを明らかにした。このことは、日本が「トマホーク」装備艦船の基地となり、対ソ前進基地化されるばかりか、『核の戦場』となることを意味する。また、日本政府は、チームスピリット米韓軍事演習や、環太平洋海軍合同演習（リムパック）への参加、さらに、日米合同演習の強化などにみられるように、日米

韓軍事一体化を進めるとともに、アメリカの核艦船や航空機を守るための『シーレーン防衛』の強化、日本の『不沈空母化』など軍拡政策をすすめてきている。このような中での核巡航ミサイル「トマホーク」の実戦配備は、非核三原則や事前協議制などを全て空文化させ、日本を対ソ連への核攻撃基地に不沈空母と化すものであり、極東への核戦争、侵略戦争の危機を一挙に増大させ、ひいてはソ連の対抗的核ミサイル（SS20等）の配備をも促進させる危険きわまりないものである。日本政府は先の「配備歓迎」の中曾根発言をとりけし、ただちにトマホーク装備艦艇の日本寄港を拒否するよう申し入れよ」との方針がうち出され、全体の拍手で確認されました。

このあと、各界を代表して、飛鳥田護憲連合議長、吉岡総評副議長、神山米特殊部隊・トマホーク配備反対沖縄県実行委員会議長、諸星神奈川県評議長、小黒非核署名を集める会事務局局長、海外代表としてフィリピン非核連合のエルモ・マナパト氏等より報告と決意表明がなされ、最後に集会宣言等を探択して、市内デモに移りました。

### 基地ゲート前で 怒りのシュプレヒコール

「トマホークくるな！」の横断幕、宣伝カー、悪魔のミサイルの模型などを先頭に市内デモに移った参加者は、途中、機動隊に二重三重に守られた米軍基地前でたちどまって怒りのこぼしをふり上げ、シュプレヒコールを叩きつけ、市の中心街をデモ行進し、市民に訴えました。トマホークへの反対と危機感には市民にも大きな波紋をよびおこしていることがひしひしと感じられるものでした。解散地点で千葉県労連井原議長のもとと吉田副議長との団結ガンパローをもって、より一層の反戦反核闘争のうねりを全県下につくり出すことを誓いあつて解散しました。

三里塚二期着工と軌を一にする中曾根の軍事大国化攻撃の一大エスカレーショントマホーク配備を巨万の実力闘争でうち破りましょう。  
6・15反トマホーク・二期着工阻止・中曾根内閣打倒 東京集会―国会デモに決起しよう。  
6・24反トマホーク全国大集会に総決起しよう。



対岸の米軍基地をにらんで総決起集会（臨海公園）



基地正門前で怒りのシュプレヒコール